

2019/9/29 江ノ島フリートマスターズ レースレポート

5月にフリートに加わった仲俣です。宜しくお願ひします。

前日に家から舟を運び、広いビジター置き場にポツンと・・・ 外様感満載です。

明日は、予報通りの行楽（伯楽？）日和となります様、空を仰いで念の為「念」を送りました。

普段解かないロープ類の艀装に手間取り、諸先輩に遅れ出艇しましたが、念の入れ過ぎか風がありません。

微かな西風から北、東と回る中パンピングの練習をしながら何とかスタートラインまで辿り着きました。

風待ちの為、スタートが30分位延期されていて助かりましたが、心身とも、既に相当お疲れです。

微軽風～ジ様の順風（2～4m/s）の中、ソーセージコース2周で「ジジイの覇」を争いました。

10パイ位ですから、メダルレースですね。 エッヘン！

マーク間隔は腰痛持ちにも優しく、時折来るパフに思い切りハイクして楽しむことも叶いました。

スタートは、ソコソコの位置を確保したのですが、失敗が多く、シッカリ者の諸先輩に抑えられてしまいます。

タック回数を減らし、皆さんと違う方向へ行く事にしました。 シングルハンダーは孤独を好む??

セオリー通り、好結果をもたらすのは半分以下の様でした。

3レースを終え、五体満足なうちに帰港できると思いきや、ナナナ、ナントもう一回ヤル?!

ソレなら腰を伸ばさねばと、立ち上がろうとしたら、太腿前面のナントカ筋が両方攣って、立てません。

「小豆島に続き最終レースは、痙攣リタイヤか〜。」と、嘆きつつストレッチをしてレース終了を待つ事にしました。

シングルハンダーは、独りで危険を背負い込まない!?

水分を取り、ストレッチをしながら太腿をモミモミしていたら、思いの外解れたのでスタートラインに舟を向けました。

ポートタックなので「3杯目の後ろの切れ目を横切れたら良いかな。」とっていたら、アウターの方が近かったのでぶつからない様に、早目に出ました。

リコールだろうと思ったのですが、時計のベゼルがずれていた様でラッキーでした。

右側に来たブローを長く走る事が出来、上マークを先行、そのままフォグフォーンを聴くことができました。

「棚からぼた餅」みたいな結果ですが、「無事是名馬」と詠み替える事にしました。

と、云う訳で、好天に恵まれ、穏やかな秋のセイリングを満喫する事が出来ました。

最後になり恐縮ですが、定まらぬ風の中、セイラーの体力に配慮しつつ、精力的にフォグフォーンを鳴らして下さった運営のお二人に心より感謝致します。

仲俣敦司

（番外）

結果発表を終え、藤沢に出向き、恐らく恒例（高齢?）となる「反省会」をしました。

私をはじめ「反省」の色は微塵も無く、藤沢の夜は健康的に更（老）けてゆきました。